

# 魅力ある新たな水産業の創造に向けて

東日本大震災以前、本県の水産業は、全国2位の漁業生産量を誇り、良質な水産物を全国各地に届けていました。しかし、東日本大震災による津波により、本県沿岸域は甚大な被害を受け、漁港や漁船、流通・加工機能など多くの生産基盤が破壊されました。県では、水産業の生産基盤を早期に復旧し、震災前以上に発展することができるよう、単なる原形復旧でない「新たな水産業の創造」に向けて、水産業関係者と連携しながら、さまざまな施策を実施しています。



## 加工・流通の再開と 安全・安心な供給体制の整備



震災後に建造された漁船(平成25年1月)



震災後に取壊されたワカメのボイル作業(平成24年4月)

県では、今後も支援を継続し、施設の復旧整備などを推進していきます。また、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質によって、本県水産業への影響が懸念されています。県では、県内で水揚げされる水産物の検査体制を強化し、検査結果を公表するとともに、基準値を超えた水産物が流通しない仕組みを作ることにより、安全・安心な水産物の提供に努めています。

平成22年の水揚げ金額	平成24年の水揚げ金額	回復割合(%)
約602億円	約437億円	73

※主要魚市場 気仙沼、石巻、塩釜、女川、南三陸  
平成25年3月31日現在

震災前の処理能力	現在の処理能力	回復率(%)
4,103ト	2,137ト	52

平成25年3月31日現在

震災前稼働漁船隻数	震災後稼働漁船隻数	回復率(%)
約9,000	約6,700	74

平成25年6月30日現在

復旧計画施設数	復旧した施設数	回復率(%)
56,308	45,600	81

平成25年3月31日現在

### 漁船などの復旧と 新たな経営形態の導入支援など

漁船や養殖施設も大きな被害を受けましたが、共同利用漁船等復旧支援対策事業※や養殖施設の災害復旧事業などの活用により、漁船の74%、養殖施設の81%が復旧しています。また、沿岸部の各地では、再建を自覚する漁業者同士による漁労作業の協業化や漁獲物を加工して手掛ける6次産業化などの取り組みが活発化しています。県では、競争力と魅力ある水産業を形成するため、このような新しい経営形態の導入や経営能力の強化が期待できる取り組みを支援していきます。

※被災した漁業協同組合員が共同利用する漁船を、組合などが建造する場合、その費用の一部を補助する事業



復旧後(平成25年6月)

### 漁港の復旧と機能の集約

県内に142ある漁港は、その全てが壊滅的な被害を受けました。このため、震災直後から港内のがれきり撤去と沈下した岸壁、道路などのかさ上げを行う応急工事を実施し、平成23年度末には、県内の全漁港で暫定的な利用が可能となりました。現在は、96漁港で本格復旧に向けた工事に着手しています。また、効率的な水産業の発展を図るため、魚市場などの流通機能や水産加工業が立地し、周辺から水産物が集積する気仙沼、石巻、塩釜、女川、志津川の5港を水産業集積拠点漁港に位置づけ、魚市場や漁港背後の水産加工団地などを一体的に復旧整備することとしています。

## 水産業再生へ私たちが頑張っています

### 仮設水産加工団地を整備した 気仙沼水産加工業協同組合 9社が再稼働 活気みなぎる

気仙沼水産加工業協同組合(清水徹二組合長、組合員43人)は、昨年5月、気仙沼市松崎前浜の民有地に仮設の水産加工団地を完成させた。組合の仮事務所も入る施設内では、移転を希望した9社が今年2月まで操業にこぎ着けた。港町の復興に向け、いち早く再稼働した団地内は活気に満ちている。



会員企業が操業を再開し活気あふれる水産加工団地内

団地は軽量鉄骨の平屋と2階の計5棟で構成し、延べ床面積が約2900平方メートル。仮設とはいえ、水産加工に欠かせない排水処理施設、冷蔵庫(100ト)、凍結庫(5ト)を備える。施設整備には中小企業基盤整備機構の仮設施設整備事業を活用。入居企業が中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業を用いて個々の製造設備を整えた。サメ類の加工、かつお節やサンマづくしの製造など、気仙沼の水揚げ主力魚種を原料にしている企業が多い。

組合は大川河口に近い気仙沼市赤岩港にあり、津波で冷凍冷蔵庫と事務所を流した。しかし、組合員の大半も製造拠点を失っており、落胆している暇はなかった。組合の阿部州人総務部長は「仮設団地の建設に動き、用地などで運にも恵まれ早く操業再開できた」と話す一方で、「会員企業は二重ローンを抱え、販売先の減少で売り上げも伸び悩んでいる。組合として営業力をつけて販路を拡大したい」と課題も掲げる。

組合は機能を向上させた冷凍冷蔵庫と事務所を元の場所に再建。7月中旬にも移転し、会員企業の復興に向けて支援の強化を図る。

9社が稼働している仮設水産加工団地。本格的な排水処理施設も整備した

### ホヤ養殖を再開した 県漁協女川町支所竹浦ホヤ養殖部会 独り立ち目指し来春出荷へ

「順調に育っている。来春が楽しみだね」。入り江に浮かんだホヤ養殖いかだを見回る船上。県漁協女川町支所竹浦ホヤ養殖部会長の阿部克夫さん(55)はホッとした表情を見せる。

カキ殻に付いたホヤはピンポン玉ほどの大きさに育ち、日ごとに赤みを増していく。順調にいけば、来春3月ごろには待望の水揚げが3年ぶりに始まる。



ロープに吊したカキ殻に付着したホヤ。順調に育っている



シュロ縄を巻き付けた採苗枠には小さなホヤの幼生がびっけり付着

女川町竹浦地区はホヤ養殖が盛んな浜だったが、津波で養殖施設や民家、作業場が全壊した。阿部さんも仕事を続けられるか迷ったが、水産庁の「がんばる養殖復興支援事業」という補助制度があることを知り、水産関係者のアドバイスもあって、仲間8人で復活を目指した。

津波で採苗の元でもある養殖ホヤが全滅したため、前浜に残っていた数少ない天然ホヤの卵を利用する人工採苗に切り替えた。震災前は、牡鹿町(石巻市)の浜から購入していたため、人工採苗は初めての経験。24時間交代で水槽に空気を送り込む作業など試行錯誤で管理を続けた。

補助制度による支援期間は5年。その間に出荷を始め、黒字を目指さなければならぬ。「ホヤは出荷まで3、4年かかるが、韓国との取引も盛んになっており有望な養殖品種」と阿部さん。「高水温や病気、原発の風評被害など心配の種は尽きないが、取引先の好意に応えるためにも安定供給を目指す。8人が独り立ちできるよう頑張りたい」と力を入れる。

■企画/県広報課 ●お問い合わせ/県水産振興課 022(211)2935

# 県からのお知らせ

### 宮城大学 夏のオープンキャンパス2013

各学部の入試説明、模擬講義、体験学習のほか、海外研修プログラムや留学プログラムの紹介などを行います。グローバルに活躍する人材を育成する宮城大学のオープンキャンパスへ、ぜひお越しください。

※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

【大和キャンパス】  
●対象学部/看護学部、事業構想学部  
●日時/7月21日(日)午前9時～午後3時  
◎宮城大学事務部事務局(大和)  
☎ 022(377)8318

【太白キャンパス】  
●対象学部/食産業学部  
●日時/7月28日(日)午前9時～午後3時  
◎宮城大学事務部事務局(太白)  
☎ 022(245)1121  
http://www.myu.ac.jp/

### みやぎサービスクリエイティブ提案公募制度による提案募集について

県では、民間の方々のアイデアや創意工夫を生かして、県の業務改善や県民サービスの向上につなげるため、提案公募制度を設けています。提案は通年受け付けていますが、7月、8月は、集中的に提案を募集します。

●提案内容/①企業の社会貢献活動と県の施策・事業の連携を推進するための提案  
②県の業務の委託、民営化についての提案  
③既に委託している業務の改善提案

●提案方法/提案書・提案書をEメール、電子申請システム、郵送などにより下記へ  
※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県行政経営推進課  
☎ 022(211)2239  
Eメール:gyokei@pref.miyagi.jp  
〒980-8570(住所不要)県行政経営推進課  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gyokei/

### みやぎ男女共同参画相談室 「男性相談」のご案内

夫婦、家族間の問題や男女共同参画に関するさまざまな悩み事について、男性が気軽に相談できるよう毎週1回男性相談員による電話相談を実施しています(相談無料)。

●男性相談(電話)/毎週水曜(祝日・休日を除く)午後0時30分～4時30分  
●電話番号/022(211)2557

※一般・法律相談は男性・女性どちらからの相談も受け付けています。

●一般相談/平日午前8時30分～午後4時45分(電話相談(要望により面接相談可))  
●電話番号/022(211)2570

●法律相談(面接)/毎月第4木曜午後1時～午後4時30分(女性弁護士による面接相談、要予約(一般相談電話で予約))  
◎県共同参画社会推進課 ☎ 022(211)2568

### 「パープル・タイム」参加者募集

DVや離婚で悩んでいる女性、シングルマザーの方が安心して話せる語り合いの場「パープル・タイム」を開催します。悩んでいる方、思い切った参加してみませんか?

●対象/DVや離婚などで悩んでいる女性(匿名での参加、個別相談可)

●日時・場所/①7月10日(水)・東松島市コミュニティセンター②7月17日(水)・登米市公民館③7月24日(水)・多賀城市役所④7月31日(水)・若沼市総合福祉センター  
⑤7月31日(水)・若沼市総合福祉センター  
⑥7月31日(水)・若沼市総合福祉センター  
⑦7月31日(水)・若沼市総合福祉センター  
●費用/無料  
※申し込みは不要ですが、託児(無料)を希望される場合は前日までに各会場がある市町村福祉担当課まで電話でお申し込みください。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県子育て支援課 ☎ 022(211)2633  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ksosodate/

### 「東南アジア青年の船」参加者受け入れホストファミリー募集

第40回「東南アジア青年の船」事業に参加する外国人青年(ASEAN10カ国)および日本人青年の来県に伴い、参加青年を受け入れていただくホストファミリーを募集します(1家族2人受け入れ)。

●募集家族/15家族(単身世帯を除く。応募多数の場合は抽選)

●滞在期間/11月2日(土)～4日(月)(2泊3日)  
●募集期間/8月30日(金)(消印有効)  
※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県共同参画社会推進課  
☎ 022(211)2577  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seisyoinindex.html

### 戦没者等の妻に対する特別給付金の請求について

戦没者等の妻に対する特別給付金(第二十二回特別給付金)を受け給している方で平成25年4月1日において引き続き公務扶助料などの受給権を有している方に、厚生労働省から給付金の継続受給のための案内が届きます。案内が届きましたら請求期限までに手続きを行ってください。

●請求期限/平成28年6月13日(月)

◎各市町村福祉担当課  
◎県社会福祉課 ☎ 022(211)2582

### みやぎジョブカフェ「合同適性検査&合同企業説明会」開催

●内容/①合同適性検査(事前予約可)②合同企業説明会  
●対象/平成26年3月大学等卒業予定者(既卒3年までの方を含む)、若年求職者(39歳以下)  
●当日は、学生証・運転免許証などをご持参ください。

●日時・場所/7月31日(水)仙台市情報・産業プラザ①午前11時～午後4時30分・セミナールーム(アエル6階)②午後5時～5時30分・多目的ホール(アエル5階)  
●費用/無料  
※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎みやぎジョブカフェ(中小企業雇用促進支援事業室)  
☎ 022(745)0007  
http://www.miyagi-jobcafe.jp

### 「屋外広告物講習会」受講者募集

県内で屋外広告業を営む場合には、講習会の修了者など一定の資格者を業務主任者として設置する必要があります。今年度の受講者を募集します。

●日時/8月27日(火)・28日(水)  
●場所/県庁2階第二礼堂  
●費用/4000円  
●申込期間/7月29日(月)～8月9日(金)  
※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県都市計画課 ☎ 022(211)3132  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/okugai.html

### 第6回「みやぎ優れモノ」製品募集

県内企業が製造する優れた工業製品を認定し、県内外に広く発信していく「みやぎ優れモノ」製品を募集します。

●対象/県内で生産される工業製品  
●応募資格/県内に事業所を置く企業など  
●応募説明会/8月2日(金)午後1時～3時  
●応募期限/8月9日(金)(必着)  
●応募方法/所定の申請書に必要事項を記入し、下記事務局へ郵送、または持参  
※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎みやぎ優れモノ 発信事業事務局(みやぎ工業内)  
☎ 022(777)9891  
〒981-3206  
仙台市東区明通2-2 県産業技術総合センター内  
http://www1.odn.ne.jp/m-suguremono/  
◎県新産業振興課 ☎ 022(211)2722

### 大崎高等技術専門学校オープンキャンパス

●内容/各課の授業内容説明と校内見学  
●対象/来春高校卒業予定の方やその保護者、入学を希望する若年者など  
●開講科/電気科、建築科  
●日時/8月2日(金)午前10時～午後0時30分  
●申し込み/8月1日(木)正午までに電話で下記へ  
※体験学習も行いますので、軽作業に適した服装と運動靴でお越しください。

◎大崎高等技術専門学校 ☎ 0229(22)1357

### 「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会の作品募集

●内容/書道(硬筆/毛筆)の部・写真の部  
●テーマ/自由  
●対象/県内(仙台市を除く)に居住し、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方、発達障害または難病の方  
●募集期限/8月12日(日)(必着)  
※詳しくは、下記お問い合わせください。

◎宮城県障害者社会参加推進センター  
☎ 022(291)1587 FAX 022(291)1588

### 「漁業調査指導船」船名募集

●指導船の概要/総トン数199トン、全長約45メートル、最新の海洋観測機器を装備し、沿岸・沖合の海洋調査や海洋観測を実施。平成26年4月就航。  
●対象/県内にお住まいの方  
●船名の条件/海や水産業をイメージできるもの(複数応募可)  
●応募方法/8月5日(月)(消印有効)までに、船名(ふりがな明記)、船名の意味、住所、氏名、年齢を記入し、Eメールまたは郵送により下記へ  
※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県水産振興課 ☎ 022(211)2935  
Eメール:suishink@pref.miyagi.jp  
〒980-8570(住所不要)県水産振興課  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suishin/

### 警察官B採用試験

●職種および採用予定人員/①警察官B(男性)45人程度②警察官B(女性)10人程度  
●給与・待遇等/法人の規定による  
●申込受付/8月2日(金)～8月30日(金)  
●第一次試験日/9月22日(日)  
●申込書/県警察本部事務局警察課、県内各警察署、県人事委員会事務局などで詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県立病院機構本部事務局企画課  
☎ 0120(204)606  
http://www.police.pref.miyagi.jp/

### 宮城県立病院機構職員(看護師)募集

●職種および募集人員/看護師20人程度  
●給与・待遇等/法人の規定による  
●試験日/8月17日(土)、18日(日)のうち受験者が希望するいずれか1日を指定  
●試験会場/宮城県立がんセンター(名取市)  
●申込期間/8月8日(木)(消印有効)  
●採用予定日/平成26年4月1日以降  
※職員募集や各病院でのインターンシップなど詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎県立病院機構本部事務局企画課  
☎ 022(211)2682  
http://www.miyagi-pho.jp/